

## 「令和7年度 多面的機能支払中国四国シンポジウム in えひめ」の開催

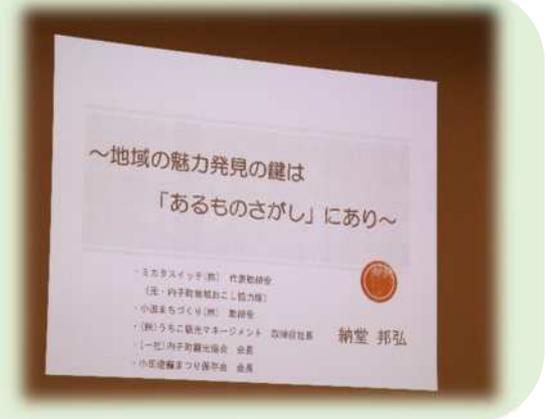
令和8年2月12日（木）松山市立子規記念博物館（4階 講堂）において、「令和7年度 多面的機能支払中国四国シンポジウム in えひめ」が開催されました。

このシンポジウムは中国四国管内各県持ち回りで開催されており、今年は愛媛県多面的機能支払推進協議会の主催により開催となりました。

山口県からも14活動組織108名が参加し、県外の活動組織との交流も図られました。

### 基調講演

基調講演では、ミカタスイッチ株式会社の納堂邦弘代表取締役より「地域の魅力発見の鍵は「あるものさがし」にあり」と題し講演が行われました。地域おこし協力隊として地域に訪れ、定住し、起業したことや地域住民ではない外部からの視点をもって地域の魅力の発見ができたことなどを実例を交えながら説明されました。



### 中国四国農政局長表彰

続いて、令和7年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰が行われ、最優秀賞を「四王寺地区資源保全会」（鳥取県倉吉市）及び「ツルの郷を守る会」（山口県周南市）が受賞されました。両活動組織より事例の発表が行われ、四王寺地区資源保全会では営農組合と連携し、田植え体験や収穫体験を地域の親子を対象に行っており地域コミュニティの強化を行っているとのことでした。ツルの郷を守る会では集落を超えて共同活動を行う草刈り支援隊を結成し、定期活動ではあるが強制ではない、参加者が負担に感じないよう持続可能な体制づくりを心掛けているとのことでした。



四王寺地区資源保全会 代表 山本勝康氏



ツルの郷を守る会 事務局長 森次高志氏

## パネルディスカッション

その後、竹島久美子氏（愛媛大学助教授）がコーディネーターとなり、村瀬勝洋氏（農林水産省多面的機能推進室長）、納堂邦弘氏（ミカタスイッチ株式会社代表取締役）、田邊幹汰氏（愛媛大学3回生）、最優秀賞「四王寺地区資源保全会」山本勝康氏（代表）、最優秀賞「ツルの郷を守る会」森次高志氏（事務局長）、優秀賞「櫻谷地域資源保全会」城本誠一氏（代表）により、これからの農業農村を維持するために多様な人材に協力してもらえるかについてそれぞれの視点から意見交換が行われました。



## 農政局長表彰受賞組織活動内容

また、会場には今年度農政局長表彰受賞組織（9組織）の活動内容がまとめられたパネルが展示され、山口県からは最優秀賞を受賞した「ツルの郷を守る会」が紹介されていました。



## 次回開催地について



令和8年度は、岡山県主催での開催となりますので、興味のある方はぜひご参加ください。



編集・発行：〒753-0079 山口市糸米 2-13-35 （県土連ビル 4F 会員支援課内）  
山口県日本型直接支払推進協議会

TEL 083-933-0755 FAX 083-933-0756  
<https://www.tamenteki-yamaguchi.jp>